



平成 29 年 10 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン
代表者名 代表取締役 浅川 岳彦
(コード番号 8107 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役 木村 裕輔
(電話 078-332-8288)

第三者割当による新株式発行の資金使途変更に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 10 月 23 日付「業務・資本提携及び第三者割当による新株式発行並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」において開示しました資金の具体的な使途及び支出予定時期について、変更することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、平成 27 年 10 月 23 日付「業務・資本提携及び第三者割当による新株式発行並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、日本製の新生児向けブランド「愛情設計」の中国展開を主軸とする大都グループとの業務・資本提携を決定し、中国事業に係る必要資金に充当するため第三者割当による新株式発行を実施いたしました。

業務提携につきましては、これまで、当社において海外事業部を設立し、大都グループとの人的交流を深めながら、「愛情設計」ブランドの中国におけるアンテナショップの開設や、上海で開催されたベビー関連の展示会での商談等、ブランド認知の向上と販路構築に努めてまいりました。現時点では、当初の期待どおりの成果をあげるには至っておりませんが、この度、中国大手レディースアパレル会社の顧客層に向けた「愛情設計」を含む当社ブランドの販売が開始される運びとなりました。同社の中心顧客は、80 年代、90 年代生まれの女性で、子どもを持つ母親層も多く、当社が運営するネット通販サイトで、当社ブランドの特徴をアピールしながら販売につなげてまいります。現在、この取組みを鋭意進行中ですが、当初計画の成果につなげるには、今しばらく時間を要するものと判断しております。

他方、国内既存事業につきましては、少子化による市場規模縮小、可処分所得の伸び悩みによる個人消費の低迷、アパレル業界における価格競争の激化等の影響を受け、低調に推移したことから、最近の当社業績は 2 期連続の赤字に陥る等、厳しい経営状態が続いております。

以上のとおり、「愛情設計」の中国展開は当初計画どおりの進捗には至っておらず、調達した資金の一部は「愛情設計」商品の仕入資金や新規店舗の設備資金に充当しておりますが、残りの多くの部分は、ここ 2 年にわたる当社業績の厳しい推移により、国内事業における仕入資金への充当を余儀なくされました。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。

前掲のとおり、「愛情設計」ブランドの拡販が当初計画どおりの進捗には至っておらず、また、「愛情設計」以外のアウトウェア・ブランドも取り扱いに加える方針としたため、国内外の協力工場における現在の生産能力で対応可能であり、当初掲げておりました③「愛情設計」の生産能力増強のための設備投資は実施しないことといたしました。また、④モデルショップについては、大都グループが自己資金にて中国

において開設しましたが、その後、上記のとおり、「愛情設計」に当社アウトウェア・ブランドも加えたブランド・ミックスでの展開とする方針に切り替えたため、「愛情設計」単独でのモデルショップ開設は行わないことといたしました。

他方で、過去2年間の業績の厳しい推移により、③及び④に支出予定であった資金は、仕入資金の運転資金に振り向けることとなりました。

⑤については、大都グループとの協議により、「愛情設計」以外のブランドの中国販売も進めていくこととしたことにより、広告宣伝の対象を拡げたものであります。

なお、以下の表における変更箇所については、下線で示しております。

(変更前)

	具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
①	中国協力工場からの直接仕入増加に伴う運転資金	<u>180</u>	<u>平成 28 年 1 月～3 月</u>
②	「愛情設計」商品の仕入資金	200	<u>平成 28 年 1 月～平成 28 年 12 月</u>
③	「愛情設計」の生産能力増強のための設備資金	<u>200</u>	<u>平成 29 年 10 月～平成 29 年 12 月</u>
④	モデルショップ及び新規店舗の設備資金	<u>150</u>	<u>平成 28 年 9 月～平成 29 年 12 月</u>
⑤	「愛情設計」の広告宣伝資金	<u>40</u>	平成 28 年 1 月～平成 30 年 12 月
	合計	770	

(変更後)

	具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
①	中国協力工場からの直接仕入増加に伴う運転資金 (注) 1	180	<u>平成 27 年 12 月～平成 28 年 1 月</u>
②	国内事業における仕入資金 (注) 2	<u>331</u>	<u>平成 28 年 2 月～平成 28 年 12 月</u>
③	「愛情設計」商品の仕入資金	200	<u>平成 27 年 12 月～平成 29 年 12 月</u>
④	新規店舗の設備資金	<u>29</u>	<u>平成 27 年 11 月～平成 29 年 6 月</u>
⑤	「愛情設計」及びその他ブランドの広告宣伝資金、 <u>上海展示会への出展費用</u>	<u>30</u>	平成 28 年 1 月～平成 30 年 12 月
	合計	770	

(注) 1 中国からの直接仕入れの増加に伴う支払サイトの短縮化により要する資金に充当しました。

(注) 2 国内事業の販売が低調に推移したことにより、在庫の増加3億30百万円(平成28年3月～平成28年12月)への充当を余儀なくされました。

3. 今後の見通し

平成30年3月期の連結業績予想に織り込んでおります海外事業の販売については、既存の生産能力で対応可能であり、新規店舗の一部については設備投資を伴わない形態で出店しているため、本件変更による設備投資の減少が連結業績へ直接与える影響は軽微であります。

以上